

尾道市立美木原小学校 学校図書館

◇ 学校図書館の環境構成 ～本は図書館だけではない「学校まるごと図書館」の取組～

美木原小学校の図書館の課題は十分な広さがないことである。そこで、「学校まるごと図書館」として、学校図書館の3つの機能(読書・学習・情報センター)を踏まえ、校内のスペースを活用して環境構成を行いました。

【学校図書館の環境構成】

玄関ホール

学校図書館

保健室

読書スペース

貸出カウンター

LLブック

4・心と体の本

注目の本

調べ学習

参考図書・0

今月の本

NIE

大型 紙芝居 新刊

調べ学習の手順と参考図書の展示

技術員手作りの展示板と書棚

日本各地の地方紙 日本地図とともに

絵本のコーナー

図書館から飛び出した

【校内の読書環境構成】

いつでも、どこでも本が身近にある環境を整えました。学習の関連本は、教室前に常設。先生のお気に入りの本は、子供達に人気があります。高学年は、各紙一面の比較読みで、社会情勢にも関心をもち始めています。教科の特性を生かした本や新聞の展示は、タイムリーに更新し、いつも新鮮な情報を子供達に提供します。

健康を考えるコーナー

教室前にある学習の関連図書

図書委員のおすすめ本は廊下に

先生のお気に入りの本

新聞一面 比較読み (毎朝更新)

まわし読み新聞

理科室前の「はやぶさ」関連記事

ビブリオバトルに挑戦!

◇ 学校図書館の利活用 ～「調べる」「まとめる」「伝える」力をつける授業づくり～

日常的な読書活動や資料を活用した教科学習に、積極的に学校図書館を活用しています。図鑑や百科事典の利用指導や並行読書、テーマに沿った調べ学習など、今年度は2月末現在248回の利用で、1クラス平均31回来室したことになります。図書館で授業をすることで、図書館にある本に興味を持ち、貸出冊数も増えました。

またNIE活動として、低学年は「NIEノート」を月2回、高学年は「Try!NIE」ワークシートを毎週1回行っています。

【図書資料を活用した授業実践】

学年	単元名	学校図書館の利活用
1	本で調べて『みのまもりかたブック』を作ろう 「どうやってみをまもるのかな」 本で調べて『1ねん1くみのりものずかん』を作ろう 「いろいろなふね」	図書資料から必要な情報を取り出して、本や図鑑形式にまとめる。
2	二つのせつめいをくらべよう 「ふるしきはどんなぬの」 どうぶつのひみつクイズを作ろう 「ビーバーの大工事」 むかし話をしようかしよう 「かさこじぞう」	図書資料から必要な情報を取り出して、カードやクイズを作る。 いろいろなむかし話を読んでおもしろかったところをカードに書いて伝える。
3	私・ぼくは、〇〇はかせだ! 「調べて書こう、わたしのレポート」 おたよりで伝える、美木原のよさ 「ほけんだよりを読みくらべよう」	レポート、お便りの書き方の本を参考にする。 (おたより参考書を作り調べ学習資料として活用)
4	作り手の意図をさぐる! 「身の回りの文章を読みくらべよう」	ポスターやちらし、説明書などを調べ学習資料として活用する。(比較読み)
5	この物語が絶対おもしろい! ビブリオバトルで伝えよう! 「注文の多い料理店」	物語の面白さや表現の工夫などを伝える。
6	美木原の未来はどうなる? 未来の町をプレゼンしよう 「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」	自分たちの町の課題を解決するための解決策を調べ、町の未来を考え、地域の人へプレゼンテーションする。

【新聞を活用した授業実践】

学年	教科	単元名	新聞の活用
1	国語	(平仮名・片仮名の学習)	新聞から平仮名の濁音や促音、片仮名などを見つける。
2	生活	ぐんぐんのびろ	観察記録をもとに、トマトの成長をトマト新聞にまとめる。
3	国語	世界の家のつくりについて考えよう「人をつつむ形—世界の家めぐり」	教材文の筆者が連載している記事を、資料として活用する。
4	国語	みんなで新聞を作ろう	新聞の作り方を記者に教わり(出前授業)新聞を作る。
5	国語	書き手の意図を考えながら新聞を読もう 「新聞記事を読み比べよう」	新聞記事を読み比べ、記事に書き手の意図がどう表れているか考える。(記事と写真、見出しの関係)
	理科	気象災害からくらしを守る	記事から読み取った情報を元に、新聞を作る。 (西日本豪雨災害)
6	社会	情報を生かすわたしたち	新聞記事から、メディアの利点・問題点を考える。
	国語	新聞の投書を読んで意見を書こう 「新聞の投書を読み比べよう」	根拠を明らかにして自分の意見を述べ新聞に投書する。 (データベースの活用)

図書館で国語辞典の学習

教科書と同じ筆者の連載記事を活用

情報の利点と問題点を話し合う児童